

令和 3 年度 江南区組織目標

組織名	江南区	区長	江南区長 米山 弘一
組織の目的・方向性	都市的なたたずまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の皆さんの安心安全で健康な生活を守ることで「笑顔あふれる江南区」を実現します。		

江南区組織目標

<p>江南区の目的・方向性を実現するため、3つの視点により取組みを進めます。</p> <p>1つ目は「磨く」です。地域が持つ宝を磨いて可能性を引き出し、まちの活力向上につなげます。2つ目は「活かす」です。地域資源を活かし、まちの魅力を高めます。3つ目は「守る」です。区民の皆様の安心安全で健康な生活を守ります。</p> <p>この視点のもと、今年度は、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、次の6つの目標に重点的に取り組めます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 江南区の農業の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る取組みを進めます。 【磨く】 区の地域特性を活かした魅力の発信や特産品などの地域資源を活かした取組を通して、区の知名度をさらに向上させます。【活かす】 民間活力を最大限導入した公共施設の再編を行い、コミュニティ活動の活性化及び多世代交流を生み出すことにより、地域全体の活力を向上させます。【活かす】 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。【活かす】 地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。【守る】 さらなる除雪体制の効率化を図り、冬期間の安心・安全な交通確保に努めます。 【守る】

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	6	達成数	6
取組結果	<ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、家族で野菜をプランター栽培し収穫・調理まで体験する事業や、梅の花めぐりの開催、地域の特産品を使った料理レシピの紹介動画を制作し、市民が「農」に親しめる機会を提供しました。また、市民と協働で地元産のクラフト納豆のブランド向上に取り組むなど、地産地消の促進を図りました。 				

	<ol style="list-style-type: none"> 2 区の魅力を再認識してもらおうとともに、関係交流人口の拡大や UIJ ターンに繋げることを目的に、区内の協賛企業等との協働による「ふるさと江南区宅配便」を県外で生活する大学生等へ発送しました。 3 ウッドショックの影響を受けたものの、曾野木コミュニティセンターの建設工事に着手するとともに、指定管理者を指定しました。 4 市全体や区の持続的な発展に繋がる土地利用に関して、計画・整備の促進を図りました。 5 地域全体で認知症高齢者や子育てを見守るため、見守り隊メールによる不審者情報、徘徊高齢者の特徴等の情報発信と、「江南区子育て応援団」の登録に取り組ましました。自治会、コミ協等に事業内容の説明及びチラシを配布して登録を呼びかけたほか、区だよりに特集記事を掲載するなど広報等を行った結果、多くの方から見守り隊メール及び江南区子育て応援団に登録いただきました。 6 大規模排雪場以外に排雪場がなかった亀田地区以外の 4 地区に 1 箇所ずつ排雪場を設置し、除雪体制の効率化を図りました。
今後の方向性	<ol style="list-style-type: none"> 1 市街地周辺に農地が近接して、豊かな農産物を身近に感じることができる江南区の特性を活かし、「農」に親しむことで農業に対する理解を深めることに重点をおきながら、農産物の地産地消を更に推進します。 2 「ふるさと江南区宅配便」アンケート結果から得られた学生の声を踏まえ、県外に住む学生同士の交流機会を創出し、UIJ ターンに繋がる事業を展開するとともに、引き続き、区の魅力発信に取り組めます。 3 地域活動の拠点となる曾野木コミュニティセンターを開設するほか、保育園跡地の民間利活用など、公共施設の再編を進め、地域全体の活力向上に取り組めます。 4 引き続き計画的な土地利用に向け、関係者に対し適切な助言などを行います。 5 創意工夫しながら広報等を行い、見守り隊メールや江南区子育て応援団の登録を増やすことで、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守り、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。 6 来年度はロータリー車を配置することから、4 車線道路やバス路線を中心に、さらなる除雪体制の効率化を図り、冬期間の安心・安全な交通確保に努めます。